

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

只見町立朝日小学校（3～6学年）

2 実施日

令和5年10月3日（火曜日）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

キリバスでは、大波や大雨がたくさん起きていて人の住むところがかかり減っていてびっくりしました。ほくも地産地消は良い考えだなと思いました。地産地消をすれば大きい船を使わなくてもよくなり、CO2も減らせるのでやっていきたいです。

命の大切さや未来のことについて考えました。人間のせいで地球がたいへんなことになっていることを知りせきにんを感じました。だからわたしは、少しでも地球温暖化を良くするために、節電や節水を少しずつやっていきます。

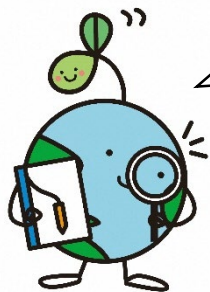
日本も地球温暖化で暑くなって大変だけど、キリバスは日本以上に大変なんだということが分かった。今まで、地球温暖化はただ暑くなるだけだと思っていたけれど、キリバスは、あんなにきれいな島がなくなってしまうほど大変なことになっているのだと分かった。ケンタロ・オノさんが言っていたように、人間が引き起こしたものは、人間が解決しなければいけないと思った。

このままだと、キリバスの島の80%がなくなってしまうときいてびっくりしました。キリバスの人のふるさとなどがなくなってしまうと聞いて、少し悲しくなりました。これからは自分たちに出来ることをすすんで協力して行きたいです。食べ物も残しません。ジャンケンがおもしろかったです。

ケンタロ・オノさんの話を聞いて、自分達にできることをしていきたいと思いました。自分達にできることは、節水や節電、食べ物を残さないといったこと。朝日小学校や自分の家でも節水や節電をしていきたいです。

キリバスが大変なんてはじめてしりました。ほくたちがゴミをポイすてするとキリバスにそのゴミがながれついてしまうということなので、ほくは、これからゴミをポイすてしないように気をつけていきたいと思います。

キリバスではかなしいことがおきているのを見て、かわいそうだと思った。温暖化はこわい。只見も日本もあぶないことを知った。キリバスも日本も守りたくなった。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ごみが落ちていたら拾う

道路や亀岡サッカー場に落ちていた空きかんやペットボトルを拾いました。これで少しでもキリバスに行くごみが減ったかなと思いました。



- なるべく日本の食べ物を食べる

只見で作ったものや、日本でつくった食べ物を食べた。おいしかった。地産地消できてよかった。



- 希望を捨てない
- 地産地消
- 節電、節水、節約

地産地消は難しかったけど、節電（使っていないコンセントを抜くなど）、節水には取り組みました。これからも続けていきたいです。



- ペットボトルを週2回使わない

ペットボトルを週2回使わないことで、ゴミの量もへり、家のゴミ捨てのかいすうがへりました。これからもつづけていきたいです。



- そこらへんに落ちているゴミをすてたい

じどうはんばいきのよこに落ちている空きかんやペットボトルをひろう事ができた。



- 川にプラスチックゴミをすてないようにして海をよごさないようにしたい

できました。そして川にゴミがおちているときはひろいたいです。

